

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路部地域道路課

担当課長名：吉田 雅文

事業名	はやしながのはら 一般県道林長野原線	みこしろ 王城道路	事業区分	地方道	事業主体	群馬県
起終点	あがつま ながのはら はやし 群馬県吾妻郡長野原町林 ~ 群馬県吾妻郡長野原町長野原				延長	3.9 km
事業概要						
一般県道林長野原線は、長野原町林を起点とし長野原町長野原に至る延長3.9kmの路線で、利根川水系八ツ場ダム建設に伴う吾妻川左岸側の付替道路として長野原町の地域居住計画に基づいた重要な路線である。						
H 8年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)		H 13年度用地着手	H 9年度工事着手		
全体事業費		約20億円	事業進捗率	83%	供用済延長	0km
計画交通量		5,100台/日				
費用対効果分析結果	B / C (事業全体)	総費用 (残事業/事業全体) 4億円 / 24億円		総便益 (残事業/事業全体) 58億円 / 58億円		基準年 平成17年
	(残事業)	2.4	事業費：2 / 22億円 維持管理費：2 / 2億円	走行時間短縮便益：51 / 51億円 走行費用減少便益：6 / 6億円 交通事故減少便益：1 / 1億円		
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> 個性ある地域の形成（特別立法に基づく事業である） 災害への備え（緊急輸送路が通行止めになった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する） <p style="text-align: right;">他3項目に該当</p>						
関係する地方公共団体等の意見						
八ツ場ダム建設事業に伴う生活再建の基幹となる施設であり、長野原町及び水没地区ダム対策委員会より早期整備の要望を受けている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
八ツ場ダム建設事業は、地元の詳細を得て順調に進んでおり、本路線の整備の要望は強くなっている。						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
平成13年6月に八ツ場ダム建設事業に伴う補償基準が、平成17年9月には八ツ場ダム建設事業に伴う代替地分譲基準が妥結し、用地買収及び工事を促進している。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
補償基準妥結をはじめ水没関係者との調整の遅れが事業長期化の原因となっている。今後はダム建設に伴う代替地の造成にあわせて、事業を促進させる予定である。						
施設の構造や工法の変更等						
掘削残土を代替地造成へ有効利用するなどコスト縮減を図っている。						
対応方針		事業継続				
対応方針決定の理由						
以上の状況等を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。						
事業概要図						
						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。